

筆算盤を使った指導例

たし算の筆算のやり方

① $83 + 46$

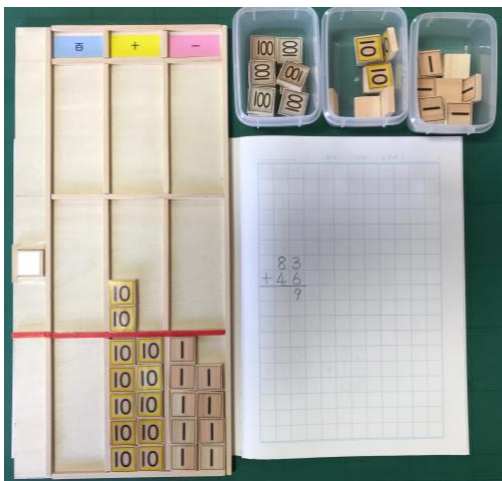
筆算の通りに盤の上にそれぞれの位の数字ブロックを並べる。



②一の位のブロックを一番下の枠に移動して合わせる。 $3 + 6 = 9$ となる。



③十の位のブロックを一番下の枠に移動して合わせる。 $8 + 4 = 12$ となる。



④ 10のブロック10個を百の位に繰り上げて100のブロック1個と交換する。



⑤ 十の位と百の位のブロックを一番下の枠に移動する。答えは129



ひき算の筆算のやり方

① 102-65

ひき算の場合は、ひかれる数を上下の中央の枠に、それぞれの位に並べる。



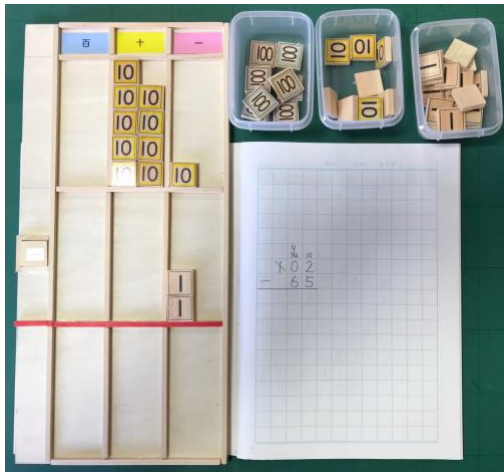
②一の位の2-6はできないので、十の位から繰り下げたいが空位なので、百の位から繰り下げて中の位の一番上の枠へ100のブロックを1個移動する。



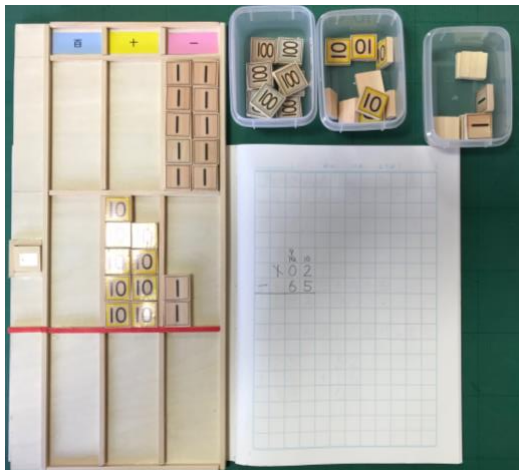
③100と交換したと考え、100のブロックを取り10のブロックを10個並べる。



④十の位のブロックを1個一の位の一番上の枠に移動する。



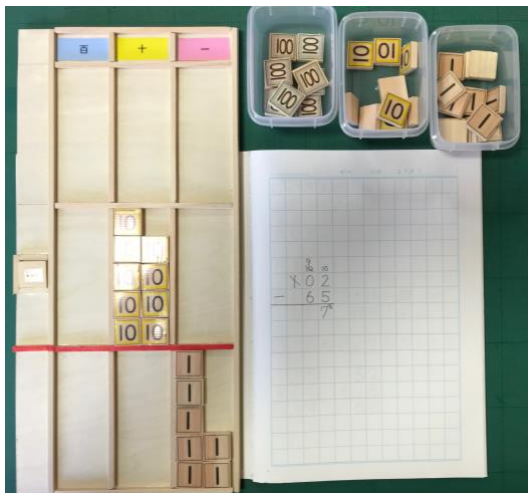
⑤一の位置いた10のブロック1個を1のブロック10個と交換する。



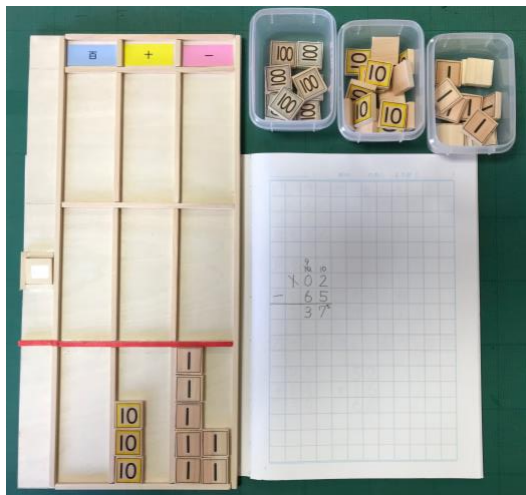
⑥一の位の一番上の枠に並べたブロックを5個取る。(10-5)



⑦一の位の5と2を一番下の枠に移動して合わせる。



⑧十の位のブロックから6を取り、一番下の枠に移動する。(9-6=3)



筆算盤のブロックを使った他の指導

① $40+30$ の指導について

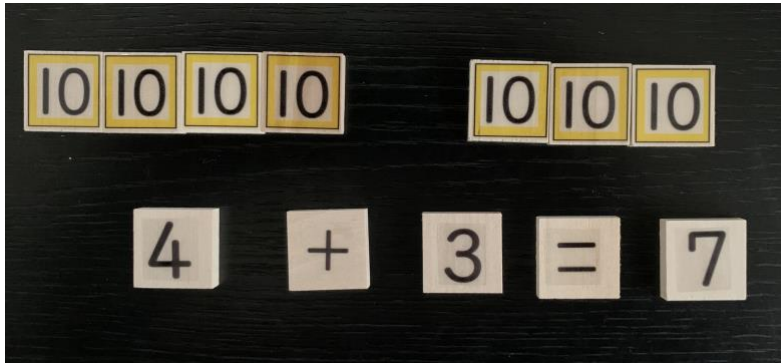
10 のブロックを 4 個置いて 40。少し離して 10 のブロックを 3 個置いて 30。

10 をもとにして，計算する。

40 は 10 のブロックが 4 個。30 は 10 のブロックが 3 個。

だから， $4 + 3 = 7$ となる。

そこで，10 が 7 個で，答えは 70 となる。



この計算は小学 1 年の学習内容である。このもとにして計算する考え方は，小数，分数の学習でも指導する内容なので，1 年でしっかりとおさえておくといよい。筆算は小学 2 年からの学習内容である。筆算はもとにして計算する方法である。つまり，一の位は 1 をもとにして計算。十の位は，10 をもとにして計算。百の位は 100 をもとにして計算している。筆算盤に付属する 100 のブロックを使って， $400+300$ などの 100 をもとにした計算の学習もできる。